

R7年農事メモ(第5号)

令和7年7月4日
白山石川営農推進協議会
石川県農業共済
白山農業協同組合

白山石川グレードアップ米づくり運動実施中！

今回のポイント！

- 中干し後から出穂までは、約1ヶ月間の飽水管理
- 出穂から刈取り直前までは、
①乾かさない ②ずっと溜めない ③すぐ落とさない
- 水稻の生育ステージにあわせた適期防除の実施

水稻の生育状況（6月27日時点）

草丈は、ゆめみづほで平年並～前年より短く、コシヒカリで平年・前年よりやや長めです。茎数は、ゆめみづほで平年・前年並、コシヒカリで平年よりやや少なく前年並です。ゆめみづほは、幼穂形成期に入っており、中干しを終了し、間断通水に切り替えましょう。コシヒカリは、7月5日頃を目途に中干しを終了し、間断通水に切り替えましょう。

※今後の気象経過により出穂期が前後する可能性があります

【出穂期の見込み（5月連休までの田植、6月27日調査】

品種名	出穂期（平坦部）	出穂期（山間部）
ゆめみづほ	7月18日前後	7月20日前後
コシヒカリ	7月27日前後	7月29日前後

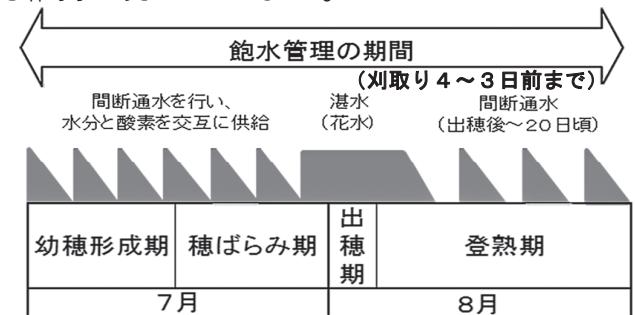
当面の栽培管理

1 水管理～飽水管理の徹底～

- 中干し終了後は間断通水を実施し、徐々に飽水管理へ移りましょう。
急激な湛水は、根の酸素不足による根腐れや下位葉の枯れ上がりを生じさせてるので、
行わないでください。
- 出穂前後は花水として湛水する。※溜めっぱなしを避け、水の入れ替えに努めましょう。
- 飽水管理は登熟の後期まで実施し、稻体の活力維持に努めましょう。

ここにも注意を

- 減数分裂期（前ページ参照）に低温(17°C以下)が
予想される場合、深水にし、幼穂を保温しましょう。
- 登熟期に高温が続く場合は、夜間通水を行い
地温を下げるよう努めましょう。
- 強風やフェーンが予想される場合、
あらかじめ十分に入水し、高温障害の発生を防止！



2 肥培管理～分施体系の穗肥（コシヒカリ）～

◎施用基準（分施体系） ※幼穂長を確認し、稻の姿に応じて的確に施用すること。
「BBLP有機060号」

施用時期（幼穂長）	施用量(kg/10a)	葉色
出穂18日前 (10~15mm)	30	3.5

- ・葉色が基準程度で葉身は直立 ・・・ 基準どおり施用。
- ・葉色がやや濃いが葉身は直立 ・・・ 基準より5日遅らせる。
- ・葉色が濃く葉身の乱れが目立つ ・・・ 基準より5日遅らせ、2割減肥する。

生育に応じた対応方法	生育が早い、生育旺盛	生育が遅い、生育不足
幼穂形成期	草丈が長く葉色濃い場合は、穗肥を遅らせ減肥する。	生育が遅れているため、穗肥や基幹防除が早すぎないよう注意する。

3 肥培管理～一発体系の上乗せ追肥（ゆめみづほ）～

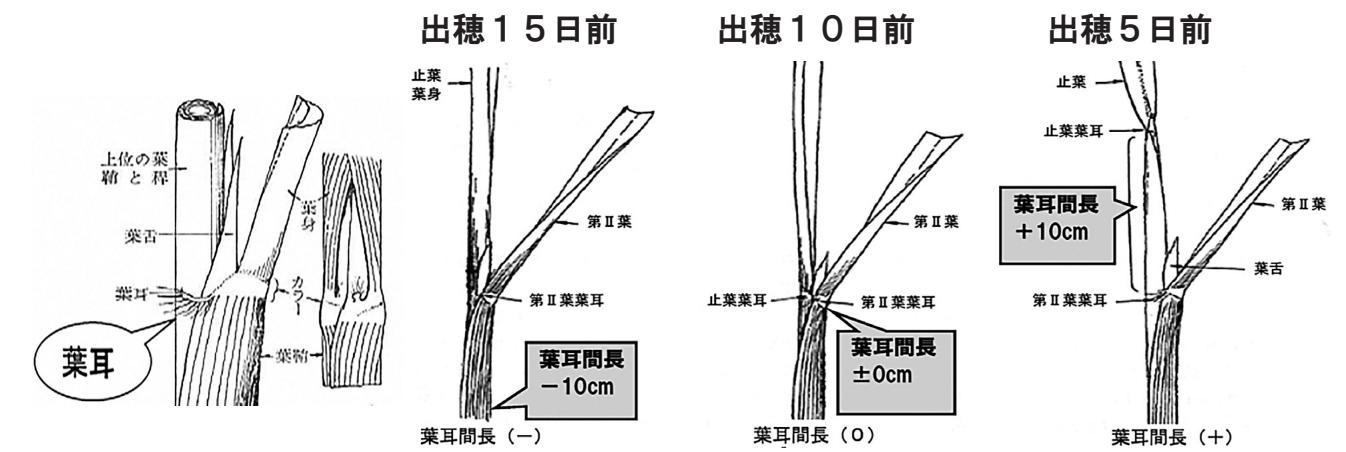
◎高温登熟が予想されるため、出穂前の葉色が淡い場合は、基肥一発肥料であっても上乗せ追肥を施用し、高温登熟による白未熟粒の発生を防ぎましょう。

「BBとれるぞう」

施用時期（葉耳間長）	施用量(kg/10a)	葉色
出穂7日前 (±0~+5cm)	7~10	5未満

- ・ただし基肥に「早生一発くんDX28」を施用した場合は、上乗せ追肥は不要。
- ・昨年までの経過（秋落ち、大豆跡による基肥減肥など）や、今後の登熟期間の気象を踏まえて、実施を判断する。

◎葉耳間長による出穂前数の推定方法



○向こう1か月の天候の見通し（北陸地方）

参考：新潟地方気象台の情報（6/21～7/20）

平均気温（1か月）	降水量（1か月）	日照時間（1か月）
平年より高い見込み	平年より少ない見込み	平年より多い見込み

向こう1か月の気温は高く、特に7/6以降はかなりの高温が見込まれます。
平年に比べて曇りや雨の日は少ないでしょう。

4 病害虫防除～基幹防除～

剤形	散布時期	対象病害虫	薬剤名	使用量 10a当り	散布適期	ゆめみづほ出穂予想		コシヒカリ出穂予想		本剤の 使用回数	注意事項 (使用時期)
						平坦部 7/18	山間部 7/20	平坦部 7/27	山間部 7/29		
粉剤	1回目	いもち病 ウンカ類 カメムシ類	ビームトレボン 粉剤 5 DL	4 kg	出穂後 5日～9日	7/23～7/27	7/25～7/29	8/1～8/5	8/3～8/7	3回以内	収穫7日前 まで
	2回目	カメムシ類	ビームスタークル 粉剤 5 DL	3 kg	出穂後 15日～19日	8/2～8/6	8/4～8/13	8/11～8/15	8/13～8/17	3回以内	収穫7日前 まで
粒剤	1回目	いもち病 カメムシ類 紋枯病	イモチエース スタークル粒剤	3 kg	出穂前 9日～5日	7/9～7/13	7/11～7/20	7/18～7/22	7/20～7/24	3回以内	収穫35日前 まで
	2回目	カメムシ類 ウンカ ツマグロヨコバイ	スタークル粒剤 スタークル豆つぶ	3 kg 250 g	出穂後 5日～9日	7/23～7/27	7/25～8/3	8/1～8/5	8/3～8/7	3回以内	収穫7日前 まで
液剤	1回目	いもち病 カメムシ類	ビームエイト トレボンゾル	100～150L (650倍)	出穂後 3日～7日	7/21～7/25	7/23～8/1	7/30～8/3	8/1～8/5	3回以内	収穫14日前 まで
	2回目	カメムシ類他	ビームエイト スタークルゾル	60～150L (1000倍)	出穂後 10日～14日	7/28～8/1	7/30～8/8	8/6～8/10	8/8～8/12	3回以内	収穫7日前 まで
ドロ ーン	1回目	いもち病 カメムシ類	ビームエイト トレボンゾル	800mL (5倍)	出穂後 3日～7日	7/21～7/25	7/23～8/1	7/30～8/3	8/1～8/5	3回以内	収穫14日前 まで
	2回目	カメムシ類他	ビームエイト スタークルゾル	800mL (8倍)	出穂後 10日～14日	7/28～8/1	7/30～8/8	8/6～8/10	8/8～8/12	3回以内	収穫7日前 まで

5 病害虫防除～随時防除～

稻こうじ病 常発地や前年に発生した地域は、防除を行いましょう。
紋枯病 特に、ゆめみづほは紋枯病の耐病性が低いため、注意が必要です。

対象病害	薬剤名	使用量 10a当り	散布 適期	本剤の 使用回数	注意事項
稻こうじ病	Zボルドー粉剤 D.L	3～4 kg	出穂15～10日前まで	—	使用時期：出穂10日前まで (遅れると薬害が発生する)
稻こうじ病・ 紋枯病	モンガリット粒剤	3～4 kg	出穂 3～2週間前	2回以内	①水深3cm程度で、 散布後4～5日は湛水を保つ ②使用時期：収穫30日前まで
紋枯病他	バリダシン液剤 5 (1000倍)	60～150L (1000倍)	出穂10日前まで	5回以内	使用時期：収穫14日前まで
	バリダシンエア一	800ml (8倍)			

病害虫防除は適期を逃さず実施！

病害虫発生予報第3号（6月12日発表、農業試験場病害虫防除室）

紋枯病：やや多 前年発生ほ場・茎数の多いほ場で多発する可能性があります。
斑点米カメムシ類：多

7月上旬仕上げ除草＆適期防除の徹底で、斑点米を減らしましょう！

6 倒伏軽減剤

薬剤名	使用量 10a当り	散布 適期	本剤の 使用回数	注意事項
スマレクト粒剤	2～3 kg	出穂20日～7日前	1回	湛水状態でムラなく均一に散布し、 散布後5日間は湛水を保つ。 散布後7日間は強制落水しない。